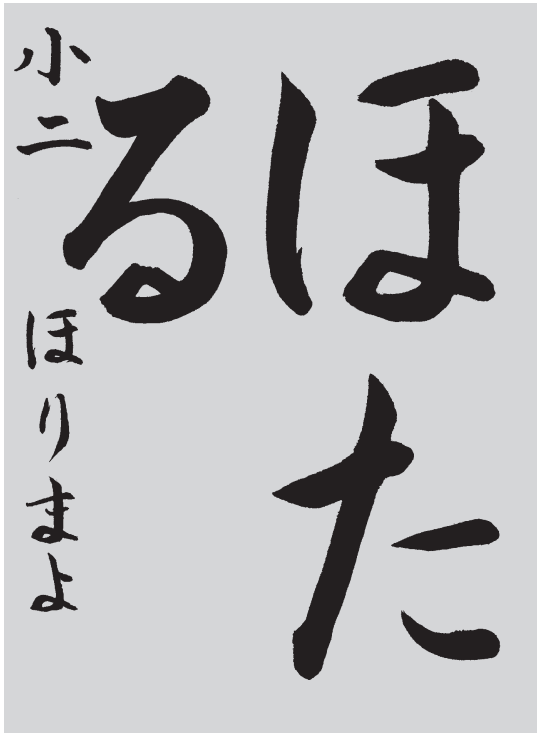


〔7月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

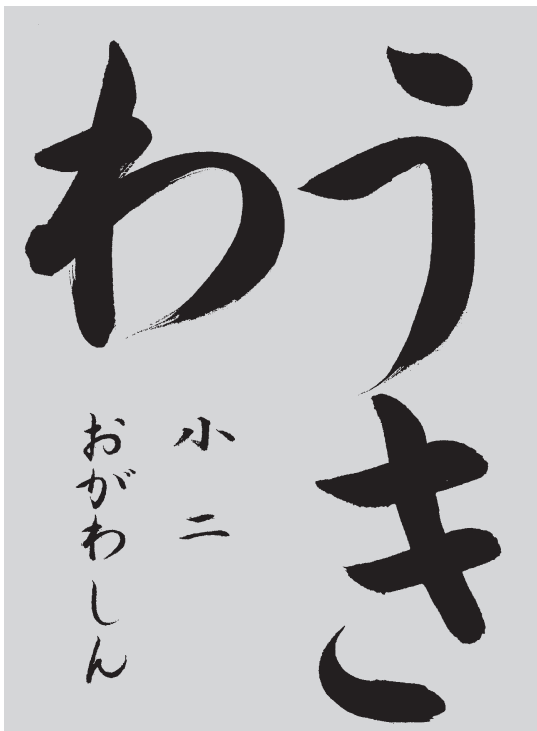


牧 泰 濤 先生

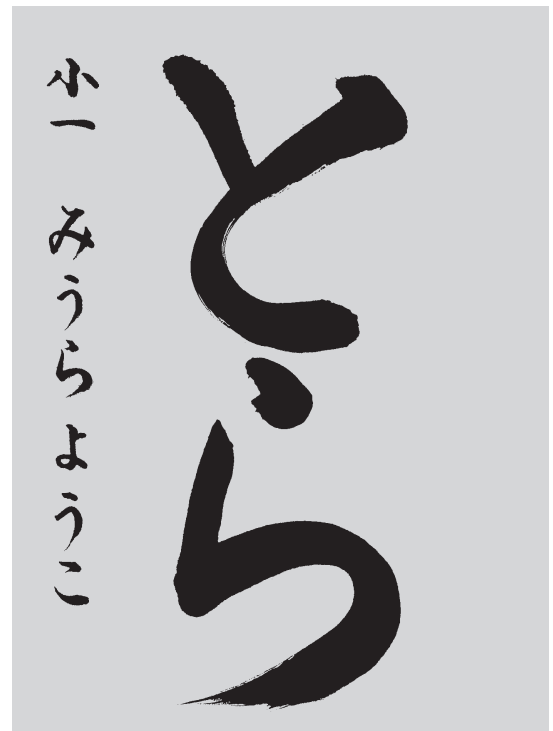
幼・小学1年参考手本



加 瀬 澄 春 先生



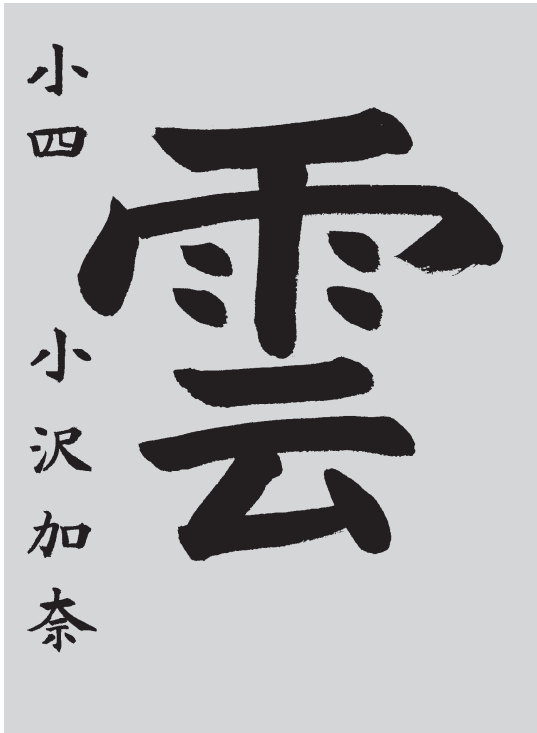
川 島 舟 錦 先生



三 浦 鄭 街 先生

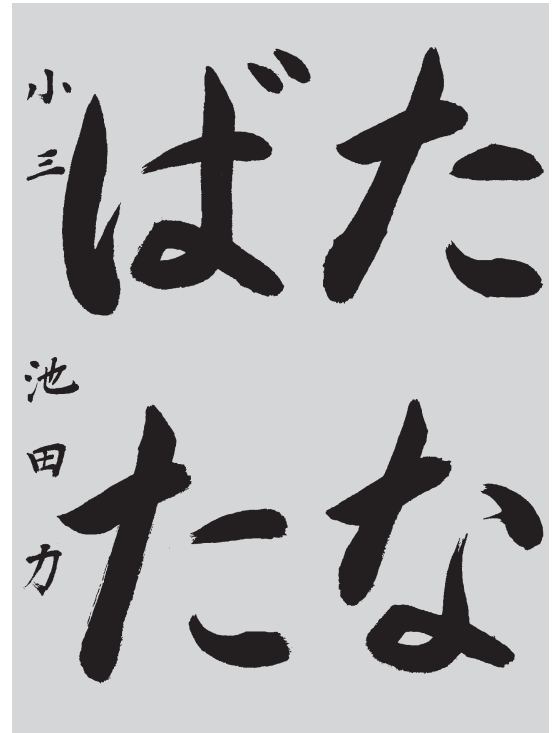
〔7月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本

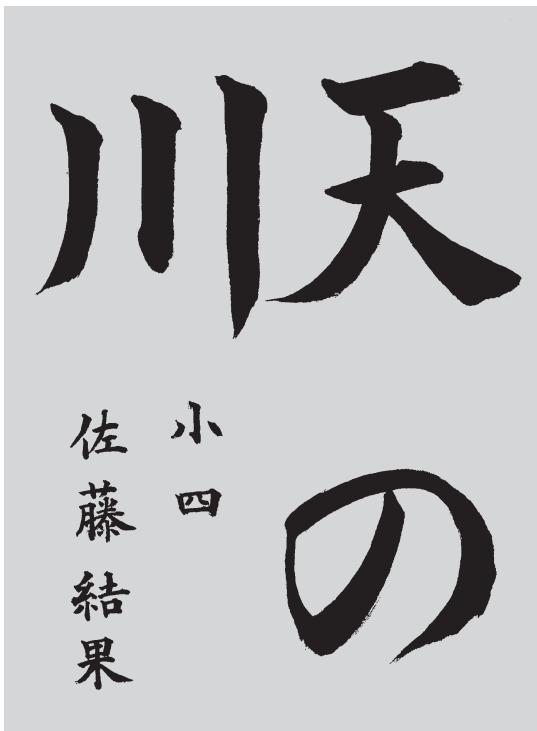


板垣洞仙先生

小学3年参考手本



大野祥雲先生



名越蒼竹先生



北村白琉先生

〔7月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本



半田藤扇先生

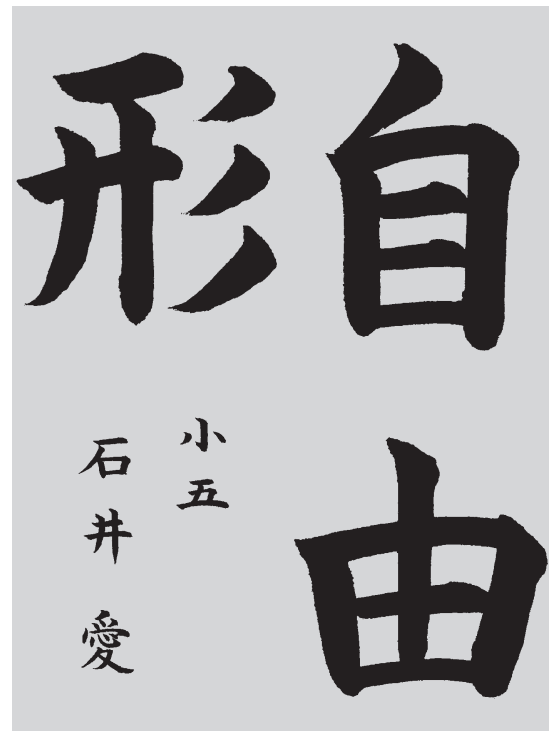
小学5年参考手本



種谷萬城先生



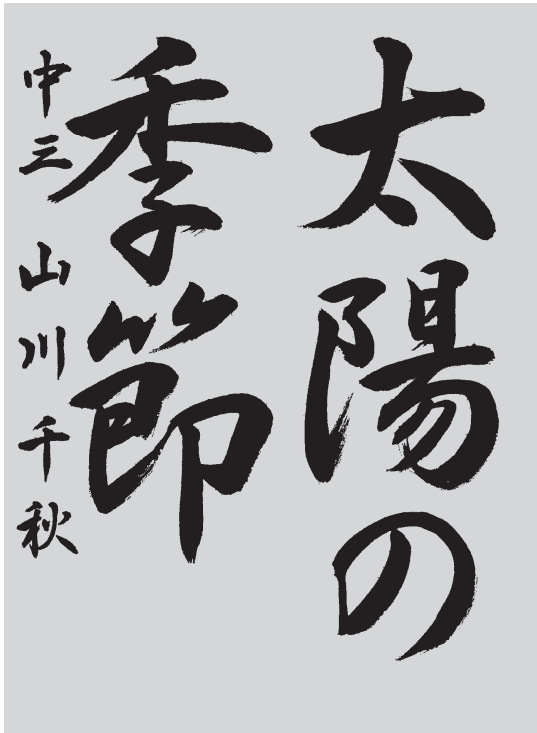
山口仙草先生



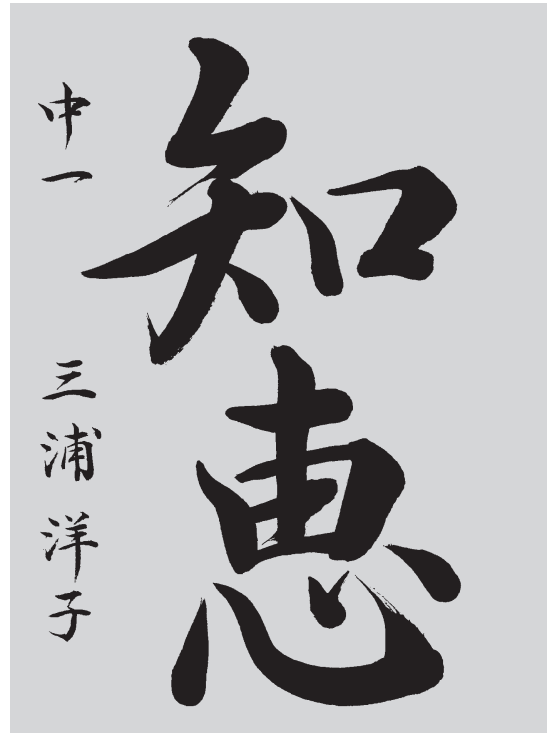
小竹石雲先生

〔7月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

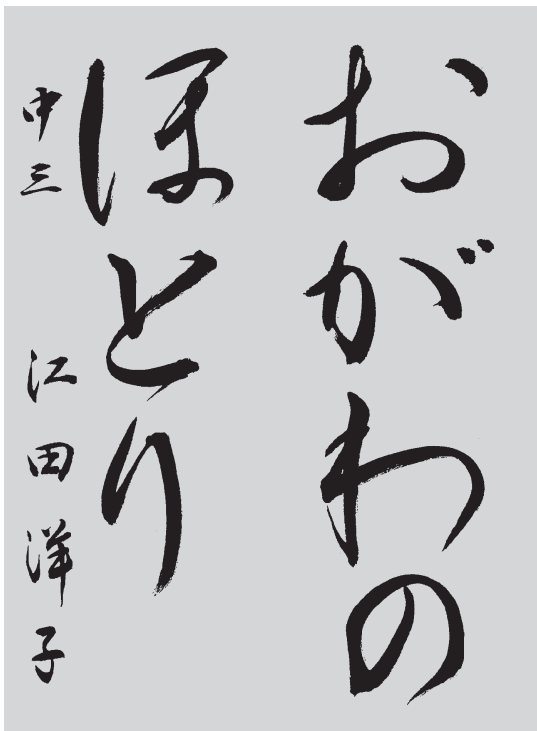
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



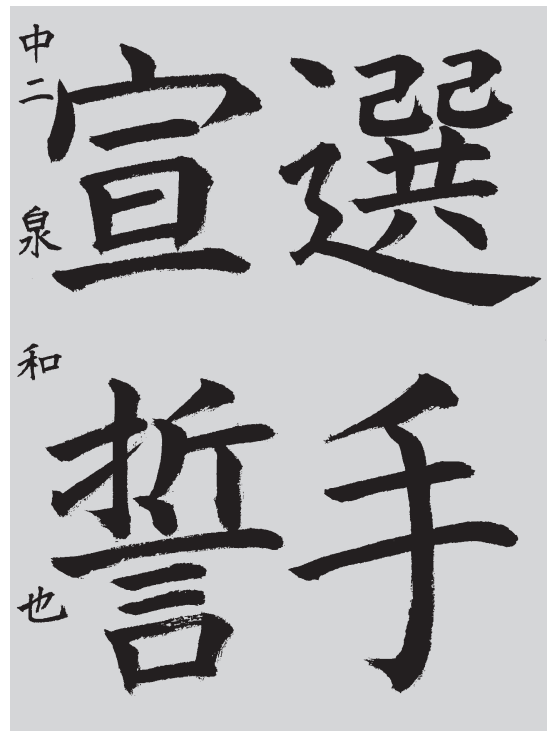
大平 邑峰 先生



川村 美泉 先生



辻元 大雲 先生



小伏 小扇 先生

〔7月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中 学 生

小 学 6 年

支 部 名	「温故知新」とは、古いことを研 究することによって、新しい知識 や道理を発見することである。
段・級	
学 年	
名 前	
名 前	

支 部 名	俳句は、わが国独特 の詩である。世界で最 も短い詩形である。
段・級	
学 年	
名 前	
名 前	

知 識
研 究

〈簡単な行書〉

道理を発見すること

「温故知新」
漢字を少し大きめに書きましょう。

最

「日」を扁平に
〈筆順に注意〉
㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅ ㇆ ㇇ ㇈ ㇉ ㇊ ㇋ ㇌ ㇍ ㇎ ㇏ ㇐ ㇑ ㇒ ㇓ ㇔ ㇕ ㇖ ㇗ ㇘ ㇙ ㇚ ㇛ ㇜ ㇝ ㇞ ㇟ ㇠ ㇡ ㇢ ㇣ ㇤ ㇥ ㇦ ㇧ ㇨ ㇩ ㇪ ㇫ ㇬ ㇭ ㇮ ㇯ ㇰ ㇱ ㇲ ㇳ ㇴ ㇵ ㇶ ㇷ ㇸ ㇹ ㇺ ㇻ ㇼ ㇽ ㇾ ㇿ

独

「犭」(けものへん)の筆順
ノ イ ヲ
二画目大きくする

俳

立てぎみに

とめる
はらう
「非」の筆順
ノ ノ ヲ ヲ 非 非

「俳句」
「へん」と「つくり」をつりあいよく書き
ましょう。



4年	雲	ウン くも	一 𠃉 𠃉 雨 雲 雲 雲
5年	開	カイ ひら・く ひら・ける あ・く あ・ける	丨 冂 冂 門 門 門 開
	形	ケイ ギョウ かた かたち	二 𠃉 开 开 形 形
6年	夏	カゲ なつ	一 一 𠃉 百 頁 夏 夏
	至	シ いた・る	一 𠃉 𠃉 至 至
中学	選	セン えら・ぶ	日 𠃉 𠃉 𠃉 𠃉 選
	宣	セン	宀 宀 官 宣
	誓	セイ ちか・う	一 扌 扌 扌 折 折 誓
	太	タイ タ ふと・い ふと・る	一 𠃉 大 太
	陽	ヨウ	阝 阝 阝 阝 陽 陽
	季	キ	二 千 禾 禾 季 季
	節	セツ セチ ふし	𠃉 𠃉 筍 筍 節 節

行書を学ぼう (215)

(中学生の課題より、辻元大雲先生書)

行書と教科書体楷書の「ちがいを見つけましょう」

季

季

宣

宣

選

選

節

節

誓

誓

手

手

ひらがなの字源 (215)

書写教育
全国大学書写書道教育学会編より転載

源字	字形	り	と	ほ	の	わ	が	お
		利 あ り り	止 と と と	保 ほ ほ ほ	乃 乃 の の	和 わ わ わ	加 か か か	於 お お お

※源字については、異字体から変遷したもの。*印を付して()にその字体を記した。
※字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

漢字に親しもう

七月号五年生の毛筆課題「自由形」から『形』にスポットを当てて、
 使い方、毛筆で書く時の注意点をしっかりと学びましょう。

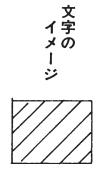
形
 部首 勹
 画数 7
 おん ケイ・ギョウ
 くん かた・かたち
 三(さんづくり)

- 【いみ・じゆく】
- ①かたち。かた。―形式・形相・形態・正方形・球形・外形
 - ②あらわす。形づくる。―形成・造形
 - ③ようす。ありさま。―形勢

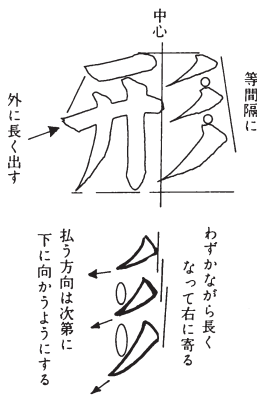
つかいかた

- なだらかな形の山。○変わった形の船。○線の多い、複雑な図形。○かわいらしいフランス人形。○母の形見の鏡。○おそろしい形相の仁王。○人格の形成。
- さんこう
 「三」(美しい筆跡)と「井」(まねる)で、筆でまねて書く、かたどるから、「かたち」となる。

形



許容体の三画目は
 止めにし四画目と平行
 文字の
 イメージ



【ポイント】

- ・字形―二画目の始筆は外に出す。「三」の下払いをあまり大きく書かない。
- ・用筆―「三」の払いの方向が違う。



編集余録

○春季昇級試験の審査が終了しました。皆さんの力作を当番審査の先生方が一点一点丁寧に審査しました。皆さんの手元に学生版7月号が届く頃に指導されている先生から『合格証』を受け取ってください。今回特待生になられた毛筆51名、硬筆45名の方に贈呈する記念の楯は6月末に指導者の先生に届くように手配しています。もう少しお待ちください。

○丁度今頃は、田植えのシーズンです。きれいに整備された田んぼにたっぷりと水を張り、苗を植え、一ヶ月、二ヶ月経つとグンとたくましく成長します。皆さんを見ているような爽やかな気持ちになります。田んぼは伝統的な日本の美しい風景です。失いたくないですね。

(鄭街)